

2021人権尊重ポスター・標語入選作品

応募総数 ポスター735点 標語4,372点

小学校高学年の部 ※中学校の部は次号に掲載します。



特選 濁池 佳音 (多賀小6年)



入選 藤江 愛新 (塩田小4年)



入選 風呂 一颯 (北淡小4年)



入選 富永 滉人 (北淡小5年)

2021人権標語【高等学校・一般・PTAの部】

佳作 無意識な言葉の前に一呼吸 津名高等学校3年 藤井 望歩

佳作 待ってるよ君の言葉とその勇氣 一宮中学校PTA 粟田 真美奈

佳作 色や見た目はそれぞれだけど笑顔は世界の共通語
北淡小学校PTA 矢野 洋平

文集ころ
第17集から
抜粋して掲載します



人権文集「ころ」第17集が完成しました。市内保育所(園)・認定こども園、小・中学校及び高等学校、一般の方から多くの応募をいただきました。ありがとうございます。

文集は、市内小中学校の児童・生徒の全家庭に配布するとともに、市内の各公民館、地区事務所、医療機関にもお届けします。

みずをくむプリンセス

石屋小学校 一年
いわき なな

わたしは、「みずをくむプリンセス」という本をよみました。アフリカにすんでいる、ジージーという女の子は、まい日、あさからお

かあさんといっしょに、とおいところまで水をくみにいっています。水をくみにいくときは、うたをうたったりしています。かえりはすこくおもそうです。こんなことをまい日やっているジージーは、えらいなあとおもいました。

それだけではありません。水をくむところについても、

ながいじかんならんでまっていなくてはいけません。そして、くんだ水もどろがまじってちやいります。しかも、その水を、のどがかわいてもじゆうにのむことができません。ジージーがすこくかわいそうです。

ジージーも、おうちに水があればいいのに。わたしのいえには、きれいな水がいっぱいあります。のどがかわけば、すぐ水がのめるし、まい日プールもできます。わたしのくらしとジージーのくらしが、こんなにちがうのは、なんでだろう。

わたしのいえの水をジージーにわけてあげたい。き

ぼくもだっこして

一宮小学校 一年

ひだか ゆづき

れいな、あたたかいおふろをわかってあげたい。ジージーのところにも、いどができたらいのに。

先生、わたしにできることはありますか。

ぼくは、三人きょうだいの一ばん上です。

四さいのおとうと、一さいのいもうとがいます。いもうとは、おっぱいをのんでいる赤ちゃんです。まだうまくしゃべれないので、よくなきます。いつもおおかあさんにだっこしてもらっ

ています。ぼくは、そんないもうとを見て、ときどき、「ぼくもだっこしてほしいなめ。」

とおもいます。でも、おおかあさんは、まい日いそがしそうなので、がまんしていました。

よるねるまえに、本をよんでいたら、ぼくとおなじようにだっこしてほしいおはなしました。おおかあさんが、「ゆづきもこんなふうにおもつ。」

ときいてくれました。ぼくは、ちょっとまよったけど、「うん。してほしい。」

とこたえました。すると、おおかあさんがぎゅっとだきめてくれました。ひさしぶ

りだったので、うれしかったです。でもちよつとはずかしかったです。おおかあさんは、

「ゆづきもはるきもほのちゃんも、みんな大じなだからものだから、いつでもだっこしてって

いってね。」

と聞いてくれました。

ぼくは、まだはずかしいから、すなおにいえないとおもいます。でも、ぎゅっとしてもらったとき、もやもやしてた気もちがすつとやしてた気もちがすつと

て気もちよかったです。これから、がまんばっかりしないですなおにおもっていることをいえたらいいなおもいました。



パールリボン運動

「女性に対する暴力をなくす運動」

11月12日、マルナカ東浦店前で淡路市市民人権課と子育て応援課が合同で啓発活動を行いました。

当日は、家族連れなどに、リーフレット入りのグッズを手渡し、相談窓口の周知を呼びかけました。

内閣府 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

☎ #8891

(はやくワンストップ)



第2回淡路市じんけん市民講座

10月7日、淡路市役所で甲南大学非常勤講師の佐倉智美さんを講師に迎え「LGBT『理解する』その1歩先へ〜性はひとりひとり多様なのです〜」と題し講演会を開催しました。

参加者からは、「性別は男と女だけと決めつけず、性的少数者を想定した柔軟な考えを持つ社会になればいい。」との感想をいただきました。

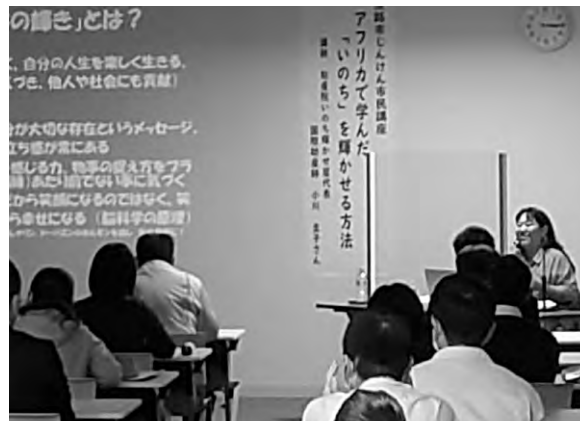


人権啓発研究第42回兵庫県集會

11月20日、神戸市勤労会館で集會が行われ、淡路市人権教育研究協議会役員がオンライン参加しました。

貧困問題に取り組んでいる作家の雨宮処凛あまみやかりんさんが「コロナ禍の貧困の現場から見えてきたもの」と題し講演されました。

シンポジウムでは「格差社会を考える」をテーマに県内で求められている支援について、事例をもとに紹介がありました。



第3回淡路市じんけん市民講座

11月16日、淡路市役所で国際助産師の小川圭子さんを講師に迎え「アフリカで学んだ『いのち』を輝かせる方法」と題し講演会を開催しました。

世界57か国以上で母子保健の専門家として国際協力活動をされた経験などから、親子ともに自分を愛せる「自己肯定感」の大切さを教えていただきました。



第4回淡路市じんけん市民講座

1月18日、淡路市役所で兵庫県人権教育研究協議会事務局の後藤みなみ（王淑麗）さんを講師に迎え「多文化共生社会をめざして〜私の中の台湾〜」と題し講演会を開催しました。

84年に台湾から日本企業に入社し、結婚をきっかけに日本国籍を取得した自身の経験や台湾と日本の歴史から、お互いの国の文化を知り交流することの大切さを学びました。



淡路市人権を考える集い

12月4日から10日までの人権週間の初日、淡路市立サンシャインホールで「第17回淡路市人権を考える集い」を開催しました。

人権尊重ポスターと標語作品の入賞者表彰式の後、「パパは女子高生だった！〜自分らしく生きること〜」と題し、性別を男性に戻して結婚した前田良さんを講師に迎え、伝える言葉や家族の大切さについてお話をいただきました。

人権啓発DVDのご紹介

「夕焼け」

主人公・瑠衣は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族するのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。

この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。

DVD上映の申込等、住民学習支援事業については、下記にお問合せください。

■申込・お問い合わせ

淡路市 市民生活部 市民人権課 人権推進係
電話 0799-64-2521
FAX 0799-64-2565
eメール awaji_jinken@city.awaji.lg.jp



うちの学校紹介



しまあ!
その26
一宮小学校

私たちの素敵な学校を紹介します。

「みんな仲良し！」

一宮小学校は、江井小、尾崎小、郡家小、山田小が集まった小学校です。4つの学校が集まって8年、みんな仲良しです。みんなが協力し、笑顔がたくさん、友達いっぱい为学校です。これからも、思いやりのあるみんな仲良しの学校にしていきたいです。

「笑顔が素敵！」

一宮小学校は、全校生243名、コロナウイルスが流行している中でも、楽し

く学校生活を送っています。今年度の体育参観日では、各競技で勝ったグループも負けたグループも、笑顔でお互いの健闘をたたえ合いました。このように、一宮小学校では、毎日笑顔あふれる明るく楽しい学校生活を送っています。

「ICTがすごいぞ！」

一宮小学校は、ICTがすごいぞ！一人一台タブレットがあることによって、勉強を効率的に進めることができるようになりました。音楽室では、スクリーンを使って、楽器の説明などを大迫力で見ることができ、音楽への好奇心がわきます。体育館でも大きなスクリーンを使って各委員会の発表をしています。スクリーンを使うことで分かりやすくなり、みんなに伝えやすくなりました。これからもタブレットを使って、いろいろなことを学んでいきたいと思っています。

「先生が素敵！」

一宮小学校の先生方は、すごく面白く、勉強が楽しくなるような工夫をたくさんしてくれれます。そして、授業中は真剣に、休み時間には子どもたちと一生懸命遊んでくれます。そんな先生を見てみると、頑張り屋さんだなと思います。また、厳しい時もあるけど、笑顔がいっぱいな先生がたくさんいるので、学校がすごく明るい雰囲気です。

ぜひ、一宮小学校に来てください。



ぽわんと手話!!

第54回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話や、ろうあ者の生活等を紹介します。

「警察」



軽く折り曲げた親指と人差し指を額に当てる。

ろうあ者の日常生活を知ろう!!

手話を学びたいと思われたら市内でも開講されている「手話奉仕員養成講座」に参加されるのがおすすめです。その後、手話サークルでろうあ者との交流を深めながら、手話通訳者をめざす方は厚生労働省カリキュラムに基づいた

淡路聴覚障害者センター

その後、手話サークルでろうあ者との交流を深めながら、手話通訳者をめざす方は厚生労働省カリキュラムに基づいた

協力：淡路聴力障害者協会 手話サークル津名

TEL 0799-24-3850

FAX 0799-26-1175

人口減少社会を考える

日本では、2004年をピークに急速な人口減少が始まっています。国の推計によると2050年には人口がピーク時の3/4になるとのことです。

人口減少による課題として、少子高齢化、世帯の縮小化（単身化）、担い手不足、つながりの希薄化などがいわれます。

「私たちの未来は明るい」といえる要素は見当たらないのが現状です。しかし、支えあいや、助けあいを幾重にも重ねながら、安心の地域づくりを進めている地域や集落が各地にあることも事実です。リーダー的な存在が果たす役割が大きく取り上げられますが、リーダーを支える人や参加する人がいて、地域活動が成り立つことにも着目したいと思います。自分が暮らす地域のことだからこそ、地域ぐるみで考えたいと思います。

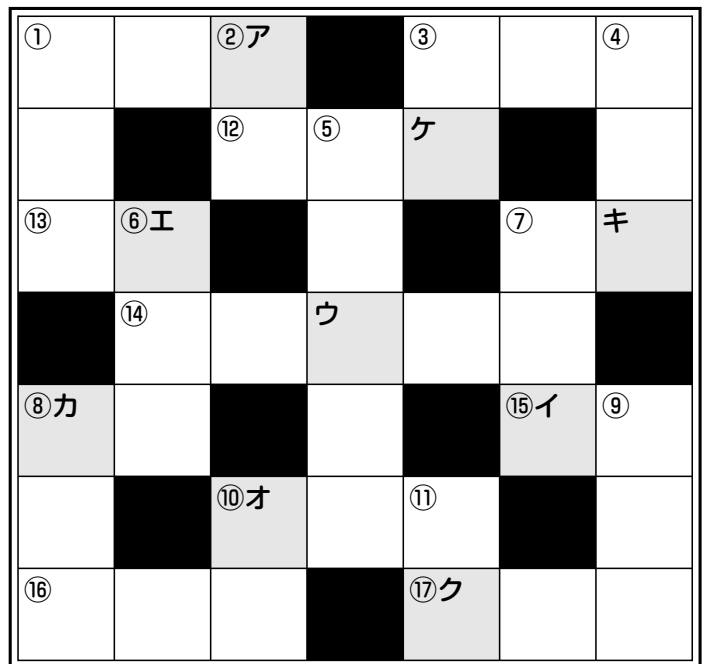
クロスワードクイズ

《タテのカギ》

- ① トランプなどを使い、不思議なことをする芸
- ② 「ジュゴン」を飼育展示。三重県〇〇水族館
- ③ じゃんけんで「チョキ」に負けるのは「〇〇」
- ④ 悪人などを一挙に捕らえる。一網〇〇〇
- ⑤ 善人らしく見せかける人。悪いとは限らない
- ⑥ 中央ヨーロッパの永世中立国。
首都はベルン
- ⑦ この世のあらゆる事物・現象。〇〇〇万象
- ⑧ 淡路市の「恋する灯台」。〇〇〇灯台
- ⑨ 代表作は『叫び』。
画家エドヴァルド・〇〇〇
- ⑩ 淡路市のマスコットキャラクター「あわ〇〇」
- ⑪ 役に立たないこと。効果がないこと。
「〇〇な努力」「人生に〇〇は無い」

《ヨコのカギ》

- ① キャンプの時などに設置する天幕
- ③ ジャイアント〇〇〇、レッサー〇〇〇
- ⑦ 庵野秀明監督の映画「〇〇・ゴジラ」
- ⑧ 大きいのはエルサイズ。小さいのは〇〇サイズ
- ⑩ フルーツの果実や果汁に砂糖や蜂蜜を加えて加熱濃縮し保存可能にした食品
- ⑫ オフロード走行が可能な軽量の自動車
- ⑬ 二宮尊徳が初夏に食べて冷夏を予測した野菜
- ⑭ 偉大な人物の伝記のこと
- ⑮ 羊の肉は「マトン」。子羊の肉は「〇〇」
- ⑯ NHK大河ドラマ第59作「〇〇〇がくる」
- ⑰ 「あきらめたらそこで試合終了ですよ…？」
バスケットボール漫画「スラム〇〇〇」



★9文字（ア～ケ）のできる言葉が答えです。

ヒント→「性同一性障害」と
同じ意味ではない

◆クイズの答え、住所・氏名・年齢（学年）とご意見・ご感想・イラストなどをハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で図書カードをプレゼントします。

【あて先】〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
淡路市 市民生活部 市民人権課内
まるごとじんけん第65号
クロスワードクイズ 係

【しめ切り】2022年3月31日(木) (当日消印有効)

第64号の答え 「ヤングケアラー」

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

個性という言葉を聞く

と、中学一年生のころの自分を思い出す。そのころの私は、何事も「こうあるべきだ。こうしなけばならない。」という思いが強くて、周りの人としてしっかりと向き合って議論することもできずに、周囲と違う自分に随分悩んでいた。

自分とは違う個性の人や集団と向き合い、その違いを理解し協働するにはどうすればよかつたのだろう。

日本の社会では、自分の考え方や生き方など、自分らしさはとても大切なことだと知っていても、多数派の意見に合わせてしまう「同調圧力」が強いていわれている。又、少数派の意見や行動は変わっていると受け止めら

れることも多い。

専門家によると日本人は、自らの意見や考えを表明し、議論し合って互いを理解し合うのが苦手な国民性だという。昔から大切にされてきた和を尊び衝突を避ける「和の文化」と、日本古来の農業を中心とした村社会の中で秩序を重んじてきた歴史によるものだから、私には、この日本人の和の文化と秩序を重んじる国民性は世界に誇る素晴らしいものだと思う。

「個性や違いに 向き合うこと」

淡路市教育長 山本 哲也

業を中心とした村社会の中で秩序を重んじてきた歴史によるものだから、私には、この日本人の和の文化と秩序を重んじる国民性は世界に誇る素晴らしいものだと思う。

今、考え方の違う人々としてしっかりと向き合い、議論をしながらお互いの理解を図ることの重要性が増している。そして、

様々な立場の人が折り合いをつけながら物事を進めて行くことが、社会の発展に欠かせない。

これからは、個性の違いを別の見方で受け止め、議論し合い分り合つて力を合わせていくことが何よりも大切だ。

自分とは違う「その人らしさ」を肯定的に捉え直し、向き合うことができていたなら、中学一年生の私も悩まず、集団の中で力を発揮できていたのではないかと思う。

お互いの個性を尊重し合うことのできる集団は、強みを発揮し合うことで素晴らしいことを成し遂げるチームと成り得る。これからの淡路市は、全ての市民が互いの個性を受け入れ、分り合いながら、誰もが力を発揮できる社会でありたい。

皆さんのおたより

●後期高齢者になってから身体障害者（難聴）となり、人との会話が不自由となり、孤独に自然となつていきます。差別には関係なく自分のなかに閉じこもってしまいます。頑張つて健康に気をつけながら生活しています。（90代）

●社会福祉協議会でお仕事をされている人と接する機会があります。仕事の内容が多岐にわたり、細かな取り組みをされます。そのお陰で私たちは、悩み事や福祉に関する相談をすることが出来ます。これからもよろしくお願いします。（60代）

●学校紹介で「いいところ見つけ」をしていることを知りました。人のよくないところを見て指摘していやな気持ちにさせるより、いいところを見つけて心を温かくすることを中心掛けたいと思います。自分のいいところもたくさん見つけると、もっと素敵な自分になれるかな。（50代）

●人権尊重ポスター 小学校低学年の部 みんな大好き、みんな友だち、えがおいっぱい、ありがとう。世界をえがおにする。どれも、楽しく、見るだけでこちらもえがおになれる作品でした。（70代）



2021人権尊重ポスター・標語 入選作品

小学校高学年の部

※中学校の部は次号に掲載します。



佳作 田村 萌々菜 (浦小 5年)



佳作 栗田 尊斗 (一宮小 4年)



佳作 楠 知惟 (塩田小 6年)



佳作 城下 七海 (浦小 5年)



佳作 泊 実果 (浦小 4年)

2021 人権標語【小学校高学年の部】

特選	他人と比べない すてきな心に 金メダル	塩田小学校 5年	大谷 つくし
入選	やさしさの数だけ あいての心が 開くんだ	志筑小学校 4年	尾崎 結花
入選	うれしいな あなた笑うと ほっとする	北淡小学校 4年	長尾 煌雅
入選	これふつう? みんなちがって あたりまえ	津名東小学校 6年	香田 千心
佳作	マスクでも 相手の表情 考えよう	中田小学校 5年	藤田 紗季菜
佳作	いつだって 自分は自分で 変えられる	中田小学校 5年	打越 結羽
佳作	かけようよ 光かがやく 笑顔の橋を	石屋小学校 5年	荒島 翠月
佳作	思うだけ 行動してこそ 変わるもの	志筑小学校 6年	福井 百香
佳作	認めよう 一人一人の いい個性	一宮小学校 6年	金登 悠晋